

No.	推薦団体	氏名	年齢	性別	市町村名	功績等
1	福島県バドミントン協会	橋本 遊二	69	男	矢吹町	<p>・第57回全日本社会人選手権大会、第55回全日本教職員大会、バドミントンS/Jリーグ2017の全国大会を積極的に誘致し、大会運営の中心として成功に導いた。</p> <p>・副理事長、理事長を歴任し、協会の組織充実と本県の競技力向上に努めた。その努力が実を結び、平成27年和歌山国体(総合優勝)、平成28年岩手国体(少年男女優勝)、平成29年愛媛国体(成年男子2位)での好成績につながるなど、福島県バドミントン協会の発展に貢献した。</p> <p>○福島県バドミントン協会 理事長8年 副理事長15年</p>
2	福島県ボクシング協会	太田 昌夫	74	男	いわき市	<p>・高等学校の教諭として多年にわたり福島県のボクシングの指導にあたってきた。高体連では専門委員長として活躍し、全国でも理事を務めた。</p> <p>・2013年より福島県ボクシング連盟の理事長を務め、福島県ボクシング連盟の活動に貢献した。</p> <p>○福島県ボクシング連盟 理事長6年 副理事長8年</p>
3	福島県弓道連盟	森 トキ子	84	女	相馬市	<p>・昭和59年～平成25年の長期に渡り県内の競技者と指導者への講習会の講師を務め、県内選手と指導者の育成に大きく貢献し、福島国体では直接指導した選手が成年女子2部優勝の成果を収めた。</p> <p>・東北弓道連盟連合会の女子部長として連合会主催の講習会等において講師を務め、東北地区全体の女子弓道家の育成に努めた。</p> <p>・東北を代表して全日本女子弓道大会を最大規模の大会に育て上げる任務を果たした。</p> <p>上記功績等にあるように、その功績は極めて顕著であり長期にわたるものである。</p> <p>○福島県弓道連盟 副会長4年 ○相馬市体育協会 理事57年 NPO法人そうま中央スポーツクラブ 副理事長12年</p>
4	福島県セーリング連盟	緑川 幹朗	81	男	いわき市	<p>・福島県セーリングスポーツの先駆者であり、いわき市小名浜港で愛好家の集団をつくり、福島県内でも常に周りを牽引したり、福島県にヨットという競技スポーツの普及に尽力した人物である。</p> <p>・平成7年に行われた福島国体においても福島県ヨット連盟会長として重責を担い、2018年4月に至るまで45年間、会長としての責任を全うした。</p> <p>○福島県セーリング連盟 会長45年</p>
5	福島県トライアスロン協会	青木 勝彦	73	男	郡山市	<p>福島県トライアスロン協会設立時から副会長などの要職を務めるなど、本県トライアスロン界に多大なる功績を残した。</p> <p>○福島県トライアスロン協会 副会長11年 理事長2年 副理事長13年</p>
6	県中地域連合	佐久間 初男	72	男	田村市	<p>・平成22年から平成23年まで田村市体育協会副会長、平成23年から平成30年まで田村市体育協会会长を務め、田村市体育協会役員として田村市のスポーツ振興・発展に多大な貢献をした。</p> <p>・平成19年から平成29年まで田村市野球協会会长を務め、市町村対抗野球大会への参加や主催大会を数多く開催するなど、生涯スポーツの普及と競技力向上にも尽力しており、その功績は大きい。</p> <p>○田村市体育協会 会長8年 副会長2年</p>
7	会津地域連合	山川 均	60	男	喜多方市	<p>・平成20年度の(財)喜多方市体育協会・熱塩加納村体育協会・塩川町体育協会・高郷村体育協会の合併にあたっては、副会長として会長を支えながら円滑に合併が進むよう尽力した。</p> <p>・会長として町民運動会や各種スポーツ大会等さまざまな事業を展開した。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ「やまとスポーツクラブ」設立に向け、設立準備委員会委員長として、各方面との調整や運営体制づくりに尽力した。</p> <p>○山都町体育協会 会長10年 副会長7年 理事長4年</p>
8	会津地域連合	瓜生 敏男	83	男	喜多方市	<p>・(公財)日本オリンピック委員会(JOC)主催の「オリンピックデーラン喜多方大会」を11回大会から14回大会まで引き続き誘致に成功し参加者も年々増やした。</p> <p>・喜多方こどもスポーツまつりや各種スポーツ市民大会など新規事業を立ち上げ、地域のスポーツへの普及に貢献した。</p> <p>・喜多方市スポーツ少年団本部長及び喜多方ソフトテニス少年団代表指導者(平成19～26年度の8年間)として、積極的にジュニア世代の競技力向上に尽力した。</p> <p>○(公財)喜多方市体育協会 会長4年 副会長6年</p>